

第48回 西諸・都城地区中学校秋季体育大会陸上競技実施要項

- 1 日 時 令和6年 9月28日(土) ※ 荒天予備日 9月29日(日)
専門部集合 7時00分 監督会 8時00分 競技開始 9時00分
- 2 会 場 小林市総合運動公園陸上競技場
- 3 種 目 (1) 男子(17種目、オープン2種目)
1年100m 1年200m 1年1500m 1年3000m 1年100mH
2年100m 2年200m 2年1500m 2年3000m 2年110mH
共通400m 共通800m 共通走高跳 共通走幅跳 共通砲丸投
共通棒高跳 共通4×100mR OPジャベリックスロー OP三段跳
(2) 女子(13種目、オープン2種目)
1年100m 1年200m 1年800m 1年80mH
2年100m 2年200m 2年800m 2年100mH
共通1500m 共通走高跳 共通走幅跳 共通砲丸投
共通4×100mR OPジャベリックスロー OP三段跳
※ オープン種目は県大会出場への予選会ではない。
- 4 参加資格 参加者は、西諸・都城地区中学校体育連盟に加入した学校に在学し、学校教育法に基づく当該校の生徒であり、学校長が認めた生徒であること。
- 5 競技規則 2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規則による。
- 6 出場制限 (1)都城、西諸地区ともに出場制限数を設けない。ただし、OP種目は、1人1種目、各種目各学校3名以内の出場制限を設ける。
(2)1人の出場は1種目とする。ただし、オープン、リレーは兼ねてもよい。
(3)リレーについて
・各学校1チームとする。(オープンでの参加は認めない。)
・1チーム6名以内とする。(ユニフォームは必ず統一すること)
(4)選手の変更及び追加は認めない。
(5)他の競技で県大会出場が決まっている生徒は出場できない。
- 7 競技方法 (1)男女別学校対抗とする。
(2)得点について
・1位3点、2位2点、3位1点とし、上位3位までの合計得点で行う。
・総合得点と同点の場合は、優勝種目数→2位→3位種目数で決める。
- 8 組合せ (1)西諸地区中学校秋季体育大会開催基準に準ずる。組合せは、9月19日(木)西諸・都城地区中学校体育連盟陸上競技専門部会において行う。
(2)予選において、同校選手が同一組にならないようにできる限り配慮する。

9 参加申込 (1) 申込方法

WebEntry システムを用いた申込とする。宮崎県中体連陸上競技専門部サイト (<https://mzc.meet7.org/>) 内にある「大会申込」より下記の申込締切日までに申し込むこと。なお、承諾書については職印を必ず押印の上、陸上競技専門委員長まで提出すること。

【大会全般に関する問合わせ先】

西小中学校 信時 大輝 TEL 0984-27-1612

【申込に関する問合せ先】

東海中学校 松濱 幹 TEL 0982-33-3029

【申込期日】

9月12日(木)

【申込書類】

ア 申込用データ

イ 承諾書(押印した後、9月28日当日までに提出)

- (2) 宮崎県中体連陸上競技専門部サイト (<https://mzc.meet7.org/>) 内に掲載する学校申込書を作成および印刷し、上記の申込締切期日までに各地区事務局へ2部提出すること。(学校申込書をメール送信する必要はない。)
- (3) 申込に際し、記入もれのないように注意すること。なお、WebEntry システム以外での申込は受け付けない。また、申込締切後の受付は一切行わない。

- ## 10 表彰
- (1) 男女別団体優勝校には、優勝旗・賞状を、2位・3位には賞状を授与する。
 - (2) 各種目3位まで賞状を授与する。

- ## 11 その他
- (1) 雷、雷雨、雷鳴の場合は、原則、中断とする。なお、詳細な対応については、大会本部(各地区の部会長・競技専門部)で判断し決定する。
 - (2) 招集時間については、以下のとおりとする。(スタート地点・現地集合)

競技種目	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	競技開始 15分前から	競技開始 10分前まで
フィールド競技	競技開始 30分前から	競技開始 15分前まで

- (3) 招集時間に遅れたものは、棄権とみなし出場は認めない。
- (4) 競技用具の使用は、本競技場備え付けの用具を使用する。但し、棒高跳びのポールは、各自のものとする。
- (5) アスリートビブスは県中体連陸上競技専門部より通知される番号を使用し、胸背部に付けること。
- (6) スパイクのピンは、トラック、フィールドとも7mm以下とする。
- (7) 競技時間には、多少の変更があるので競技の進行に注意すること。
- (8) 参加校はゴミ袋を準備し、責任を持って後片付けを行い持ち帰ること。
- (9) 令和6年4月1日～令和6年10月7日の間に、県大会参加標準記録を突破している選手とする。但し、同種目各学校3名以内とする。また、棒高跳、リレー、OP種目については参加標準記録を設けない。OP種目は、各学校2名まで参加を認める。

第48回西諸地区中学校秋季体育大会

バレーボール競技実施要項

- 1 日 時 令和6年 10月5日(土)・10月6日(日)
専門部集合 7時30分 開館 8時00分
監督会(男女別) 8時10分 開会式(男女別) 8時30分
競技開始 9時30分
- 2 会 場 小林市民体育館 ※ 女子1日目・2日目、男子2日目
南地区体育館 ※ 男子1日目
- 3 参加資格 1校1チームとする。
(監督1名・コーチ1名・マネージャー1名の計15名以内とする。)
また、マネージャーは生徒とする。又、宮崎県中学校体育連盟で認められた複数合同チームも可とする。
- 5 競技方法
(1) 予選リーグ戦・決勝トーナメント方式とする。
※ 予選リーグの順位の設定は、①勝率、②セット率、③ポイント率、④直接対決の結果とする。
(セット率 : $\frac{\text{総得セット}}{\text{総失セット}}$ の数値が高い方が上位となる)
(ポイント率 : $\frac{\text{総得点}}{\text{総失点}}$ の数値が高い方が上位とする)
(2) 1ゲーム3セットマッチで、1セットは25点のラリーポイント制で行う。
- 6 競技規則
(1) 令和6年度(財)日本バレーボール協会6人制競技規則並びに本大会規則による。
(2) ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
(3) ユニフォームの背番号は、1~20番とする。
(4) リベロは対照的な色違いのユニフォームを着用することが望ましい。ただし、ベストを使用する場合は、ユニフォームと明らかに違う色とする。リベロプレイヤーが2名いる場合は、色違いのゼッケンを着用する。詳しくは、「宮崎県中体連バレーボール競技専門部ホームページ」を参照すること。
- 7 使用球
男女とも(公)日本バレーボール協会公認球4号球とし、カラーボール(人工皮革)とする。なお、本大会においては公認球を使用する。男子は、【モルテン】、女子は、【ミカサ】とし、各チームで試合球を準備する。
- 8 組合せ
西諸地区中学校秋季体育大会開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 9 表 彰
優勝校には、優勝旗・賞状を、2位・3位には、賞状を授与する。
- 10 審 判
小林地区バレーボール協会審判員、及び各学校監督・コーチで行う。
※ 必ず各チーム随同行審判員(監督・コーチでも可)を出す。
- 11 参加申込
(1) 所定の用紙に記入し、(3)の申込先まで申し込むこと。
(2) 申込期日…西諸地区中学校体育連盟競技専門部会、開始時間までとする。
(3) 申込先…西諸地区中学校体育連盟事務局

(4) 申込書類…参加申込書 3 部提出

※ 地区中学校体育連盟事務局（1 部）、地区競技専門部（1 部）、学校保管（1 部）

12 その他（確認事項）

- (1) 試合当日の練習については、設定時間を設ける。
- (2) 参加校は、ゴミ袋を準備し、責任をもって後片付けをし持ち帰ること。
- (3) 駐車場のスムーズな移動ができるよう、各学校相乗りの徹底をすること。
- (4) 監督、コーチ、マネージャーは、規定のマークを左胸に付けること。なお、監督、コーチは統一された服装でベンチに入ること。
- (5) フロアへの立ち入りについては、原則として監督、コーチ、マネージャー並びに当外校の部員のみとする。
- (6) 選手は、アクセサリ類は身に付けないこと。また、ショートソックス（くるぶしの下までのもの）を履いての参加は認めない。
- (7) 応援については、フラッシュを利用した写真撮影は禁止し、鳴り物に関しては、二階席での使用を認める。（フロア内での使用は禁止する）
- (8) その他の細かな注意事項については変更の場合があるので、変更点については C4th で連絡をする。

第48回 西諸地区中学校秋季体育大会 軟式野球競技実施要項

- 1 日 時 令和6年10月5日(土)・6日(日) ※予備日 7日(月)
監督会 10月5日(土)8時00分 各会場
競技開始 10月5日(土)9時00分
10月6日(日)9時00分
- 2 会 場 小林市総合運動公園野球場・緑ヶ丘公園野球場
- 3 参加資格 (1) 部活動単位での参加
① 単一校チームであること。
② 「宮崎県中学校体育大会における複数合同チーム規定」に該当する場合はこの限りではない(拠点校部活動も含む)。
- 4 出場制限 チームの編成は、監督(または引率責任者)1名・選手25名以内(スコアラーも含む)とする。また、この他に、教員または部活動指導員を2名追加することができる。ただし、外部指導者が入る場合は1名とし、計21名以内とする。なお監督は背番号30、コーチはユニホームの場合、背番号29・28を付けるものとする。
- 5 競技方法 トーナメント法とする。但し、3位決定戦は行わない。
- 6 競技規則 (1) 2024年公認野球規則並びに2024年(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携及び別に定める本大会特別規定による。
(2) 試合は7回戦とする。
(3) コールドゲームは、3回以降得点差15点以上、5回以降得点差7点以上の場合に適用する。
(4) 7回終了時に同点の場合、8回以降はタイブレーク方式を適用する。
タイブレーク方式は、継続打順で前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁走者とする。すなわち、無死1塁・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお、7回までと同様、規則によって認められる選手の交代は許される。
(5) ベンチは抽選番号の若い方を1塁側とする。
(6) ルール上の疑義に対しては、当事者と監督が直接質問することができる。
(7) 背番号は、1番～25番までとし、原則としてポジション順とする。
- 7 使用球 及び用具 (1) 試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球M号球(ケンコーボール)を使用する。
(2) 使用する用具は、(公財)全日本軟式野球連盟公認のものを使用する。
- 8 組合せ 西諸地区中学校秋季体育大会開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 9 表彰 優勝チームには、優勝旗・賞状を、2位・3位チームには賞状を授与する。
但し、参加チーム数が6チーム以下の場合、3位チームの表彰は行わない。
- 10 審 判 小林地区軟式野球連盟審判員に委嘱する。
- 11 参加申込 (1) 申込方法 所定の用紙に記入し、(3)の申込先まで申し込むこと。
(2) 申込期日 西諸地区中学校体育連盟競技専門部会会場、本会開始時間までとする。
(3) 申込先 西諸地区中学校体育連盟事務局
(4) 申込書類 参加申込書3部提出
・地区中体連事務局(1部) ・地区競技専門部(1部) ・各学校保管(1部)
- 12 その他 (1) ユニホーム・用具類は中学生らしく、華美にならないように留意すること。
(2) 雷、雷雨、雷鳴の場合は原則中断とする。詳細な対応については、大会本部(部会長・競技専門部)で判断し決定する。

第 4 8 回 西諸地区中学校秋季体育大会

ソフトテニス競技実施要項

- 1 日 時 令和6年 10月5日(土)・10月6日(日) ※予備日 10月7日(月)
 男女団体戦 10月 5日(土) 監督会議8時30分 開会式8時45分 競技開始9時00分
 男女個人戦 10月 6日(日) 監督会議8時30分 競技開始9時00分
- 2 会 場 小林市総合運動公園テニスコート(8面)
- 3 参加資格 各学校において選抜された単一校(団体・個人)であること。
 ただし、個人戦において、次の(1)~(2)の条件をすべて満たした場合に限り、他校生徒とのペアによる出場を特例として認める。(1)当該中学校内での補充ができない。(2)部員数が5名以内の奇数であり、団体戦に出場しない。
- 4 出場制限 団体戦… 各学校男女1チーム。編成は監督1名、コーチ1名、選手8名以内の計10名以内とする。
 ただし、2組で構成する場合のオーダーは1番2番とし、3番を不戦敗とする。団体戦で2ペアしかないチーム同士の対戦で1対1になった場合は両チームの勝ったペア同士による決定戦を7ゲームで実施する。記録は「②-1」とする。
 個人戦… 各学校男子8組・女子8組以内とする。3年生の人数が多い場合はこの限りとししない。
- 5 競技方法 団体戦… 男子総当たりのリーグ戦(7ゲームマッチ)
 女子予選リーグ戦(7ゲームマッチ)、決勝トーナメント戦(7ゲームマッチ)
 個人戦… トーナメント戦(7ゲームマッチ)
- 6 競技規則 (1) 日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」並びに令和6年度本大会競技規則による。
 (2) 選手は背部(県名・姓・学校名)にゼッケンをつけること。また、監督・コーチは胸部(県名・学校名・監督またはコーチ)にゼッケンをつけること。
 ア ゼッケンはB5判横(白地)の大ききの布に都道府県名、学校名、姓を記述する。都道府県名の「都府県」の文字はつけないものとする。中学校は「中」と表記する。
 イ ゼッケンの文字は「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。
 ウ 学校名が「〇〇中学校」の場合は〇〇中と表記し、それ以外の「〇〇学園中等部」等の学校については中をつけずに、適当な表記で表現する。
 エ 下図のように(公財)日本ソフトテニス連盟で示されている三段とする。
 オ 監督・外部指導者(コーチ)のゼッケンは、下図のように従来通りであるが、都道府県名、中学校名の表記の仕方は、選手に準ずる。「中」はつけなくてもよい。
- ≪選手・背部≫

県名	4.5 cm
姓	9 cm
学校名	4.5 cm

≪監督・胸部≫

県名 学校名	1 / 3
監督	2 / 3
- (3) 服装は「上はゲームシャツ、下は膝丈よりも上のパンツまたはスカート」を着用すること。シューズはテニス用のものを使用すること。なお、ソックスはハイソックスでないものとする。服装のカラー化は認めるが華美に流れないこと。特に蛍光色のはさける。(用具を含む)
- (4) スtringsに装着する衝撃吸収材は使用しない。Stringsの色は単色とする。
- (5) 団体戦のオーダーは各試合ごとに1部作成し、審判に提出すること。
- (6) ベンチ入りは登録選手と監督・コーチのみとする。
- (7) サイドコーチは禁止する。
- (8) 監督・コーチは、スポーツウェアを着用する。
- (9) マッチ中にコート内での通信機器等の使用はしない。
- 7 使用球 公認球(ケンコー、赤M)の白色を使用する。
- 8 組合せ 西諸地区中学校秋季体育開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 9 表彰 (1) 団体戦優勝校には優勝旗・賞状を、2~3位には賞状を授与する。
 (2) 個人戦1位~3位には賞状を授与する。
- 10 審判 ソフトテニス協会、選手相互で行うので、参加選手は審判が出来るようにしておくこと。なお、顧問は、審判の指導、ジャッジペーパーの記入の仕方を十分指導しておく。不安な生徒については、横についてもよい。
- 11 参加申込 (1) 申込方法 所定の用紙に記入し、(3)の申込先まで申込むこと。
 (2) 申込期日 西諸地区中学校体育連盟競技専門部会場、本会開始時間までとする。
 (3) 申込先 西諸地区中学校体育連盟事務局
 (4) 申込書類 参加申し込み書3部提出
 地区中体連事務局(1部)地区競技専門部(1部)学校保管(1部)

第48回 西諸地区中学生秋季体育大会
卓球競技実施要項

- 1 日 時 令和6年 10月5日(土)
監督会 8時30分 開始式 8時45分 競技開始 9時00分
- 2 会 場 小林市立野尻中学校体育館
- 3 参加資格 単一校チーム・個人であること。
- 4 出場制限 (1) 団体戦は、各学校男女1チーム、個人戦は男女制限なしとする。
(2) 団体戦の編成は、監督・アドバイザー各1名、選手4名～8名とする。
アドバイザーは、当該校の教員または県中体連で承認された外部指導者とする。
* 5名の場合は1番が棄権、4名の場合は1・2番が棄権
- 5 競技方法 (1) 団体戦及び個人戦を行う。試合は11本5セットマッチとする。
(2) 団体戦は(単・単・複・単・単)の5試合で行い**3**点先取して勝敗が決しても最後まで行う。
(3) 団体戦は総当たりのリーグ戦方式で行う。リーグ戦の順位の出し方は県大会に準ずる。また、個人戦でのリーグ戦についてもこれに準ずる。
(4) 個人戦は、シングルスとし、予選はトーナメント方式で行う。ただし、ベスト4以降は決勝リーグにより順位を決定する。個人戦への参加者が少ない場合には専門部の判断により、予選リーグ及び決勝リーグとする。その際の組み合わせは、各学校の1位・2位をシードする。
- 6 競技規則 (1) 現行の日本卓球協会ルール及び本大会規則による。
(2) 団体戦においては、単と複を兼ねてはならない。
(3) 団体戦におけるベンチは、監督1名、選手4名～8名とする。
(4) 個人戦はアドバイザーとして、その選手の所属する学校の教員・県中体連で承認された外部指導者、または生徒1名のベンチ入りを認める。
(5) ゼッケンは、各自下図の大きさで作成し背部に着ける。(日本卓球協会制ゼッケンも認める)
(6) 服装は、日本卓球協会公認のユニフォームとする。シャツの裾を外に出したり袖をまくったりすることはしない。
- 25 cm

12 cm	姓	18 cm (布製)
6 cm	学 校 名	
- 7 使用球 プラスチックボール(白球)を使用する。
- 8 組合せ 西諸地区中学校秋季体育大会開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 9 表彰 優勝校に、優勝旗・賞状を授与する。
- 10 審判 生徒相互審判とする。
- 11 参加申込 (1) 申込方法 所定の用紙に記入し、(3)の申込先あてに申し込むこと。
(2) 申込期日 西諸地区中学校体育連盟競技専門部会開始までとする。
(3) 申込先 西諸地区中学校体育連盟事務局
(4) 申込書類 参加申込書 3部提出
地区中体連事務局(1部) 地区競技専門部(1部) 各学校保管(1部)

第48回 西諸地区中学校秋季体育大会 弓道競技実施要項

- 1 日 時 令和6年 10月5日(土)
監督会 8時30分
開会式 9時00分
競技開始 9時30分
- 2 会 場 小林市営弓道場
- 3 参加資格 各地区中学校体育連盟に所属する単一校チーム・個人であること。
- 4 出場制限 (1) 団体戦は、各学校男女何チームでも参加を認める。
(2) 団体戦のチーム編成は、監督1名・選手3名・補欠1名とする。尚、1チーム3名の編成ができないときは、2名でもチームとみなす。
(3) 個人戦は団体戦出場選手とする。但し、団体戦のチーム編成ができない場合は個人戦への参加を認める。
(4) 補欠選手との交替等で、12本行射を行っていない選手は、個人戦から除外する。
- 5 競技方法 (1) 団体戦は、1人1回4本で3回総計36本の当たり数によって順位を決定する。
(2) 個人戦は、1回4本で3回総計12本の当たり数によって順位を決定する。尚、団体戦参加者は、団体戦における個人成績を個人戦に適用する。
(3) 同中の場合は、団体戦・個人戦とも1本ずつの競射とする。但し、個人戦においては、優勝決定戦は射詰め、他は遠近法によって順位を決定する。
(4) 競技時間は6分30秒以内とする。
- 6 競技規則 (1) 現行全日本弓道連盟競技規則並びに本大会規則による。
(2) 競技は、近的28m・的直径36cm霞的で行う。
- 7 組合せ (1) 西諸地区中学校秋季体育開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 8 表彰 (1) 団体戦優勝校には優勝旗・賞状を、2～3位には賞状を授与する。
(2) 個人戦1位～3位には賞状を授与する。
- 9 審判 地区弓道連盟・地区中学校体育連盟弓道専門部及び大会出場校監督及び引率教員で行う。
- 10 参加申込 (1) 申込方法 所定の用紙に記入し、(3)の申込先あて申込こと。
(2) 申込期日 西諸地区中学校体育連盟競技専門部会開始までとする。
(3) 申込先 西諸地区中学校体育連盟事務局
(4) 申込書類 参加申込書(団体戦用・個人戦用)3部提出
地区中体連事務局(1部) 地区競技専門部(1部) 各学校保管(1部)
- 11 その他 (1) 申込み締切後の選手及び監督等の変更については、所定の変更届によって監督会を最終とし変更することができる。
(2) 補欠者と交替をしようとするときは、所定の用紙に記入の上、競技委員長に申し出て承認を受けること。
(3) 補欠者との交替は、監督会議での変更を除いて予選から決勝まで1回限りとし、行射中の交替はできない。
(4) 服装は弓道衣着用を原則とするが、やむを得ない場合は、各校指定の体育服でもよいものとする。又、女子は胸当てを使用すること。
(5) 参加校はゴミ袋を準備し、責任を持って後片付けを行い持ち帰ること。
(6) 大会前日の練習場は準備いたしません。

第48回 西諸地区中学校秋季体育大会

サッカー競技実施要項

1 日 時 令和6年10月5日(土)・10月6日(日)

10月5日(土)	監督会	8時15分	10月6日(日)	監督会	8時15分
	開会式	8時30分		競技開始	9時00分

- 2 会場 大塚原運動広場
- 3 参加資格 各学校1チーム、単一校チームとする。ただし、「宮崎県中学校体育大会における複数合同チーム編成規定」に該当する場合は、この限りではない。
- 4 出場制限 チームの編成は、監督1名・コーチ1名・引率責任者1名・選手18名の計21名以内とする。
- 5 競技方法 予選及び決勝については、トーナメント戦またはリーグ戦とする。
- 6 競技規則 (1) 令和6年度日本サッカー協会規則及び本大会要項を適用する。
① 警告は累積され、2回の警告を受けた者は次の一試合に出場できない。
② 本大会で退場を受けた者は、次の一試合は自動的に出場を停止する。決勝戦

における

退場処分の出場停止は県大会に持ち越される。

- (2) 試合時間は60分とする。勝ち点は、勝ち…3、引き分け…1、負け…0とする。勝ち点と同じ場合は、4チームによるリンクリーグにおいては「直接対決」→「得失点差」→「総得点」→「PK戦」の順で決定する。3チームによるリーグにおいては「得失点差」→「総得点」→「PK戦」の順で決定する。(4チームが並んだ場合は、総当たりのPK戦を行う。)
但し、準決勝・決勝は10分間の延長戦を行う。延長戦で勝敗が決しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。
- (3) 選手交代は、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、7名までの交代が認められ、一度退いた競技者も再び出場できる。
- (4) ユニフォームについて
① ユニフォームには、背番号をつけること。
② 色の異なる2種類を用意すること。なおユニフォームは参加申込書に記入したものとする。
参加申込書送付以降の変更は認められない。また、背番号の変更も認められない。
- (5) ベンチは、抽選番号の若いチームをコートに向かって左側とする。
- (6) その他、競技規則等に関することは、監督会で確認する。

- 7 使用球 試合球は、皮縫5号球を使用する。各学校で用意すること。
- 8 組合せ 西諸地区中学校秋季体育開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 9 表彰 優勝校に、優勝旗・賞状を、2位には賞状を授与する。
- 10 審判 サッカー協会公認審判員の方々をお願いする。
- 11 参加申込 (1) 申込方法 所定の用紙に記入し、(3)の申込先あて申込こと。
(2) 申込期日 西諸地区中学校体育連盟競技専門部会開始までとする。
(3) 申込先 西諸地区中学校体育連盟事務局
(4) 申込書類 参加申込書 3部提出
- 12 その他 (1) 審判の判定には、中学生らしい素直な態度で従うこと。
(2) 中学生として望ましいマナーを身につけるよう努めること。
(3) ゴミは各学校で必ず持ち帰ること。

第48回西諸地区中学校秋季体育大会
バスケットボール競技大会実施要項

1 日 時 令和6年 10月5日(土) 10月6日(日) 【会場設営】 高原中(前日)

10月5日(土)		10月6日(日)	
開場	8:00	開場	8:00
監督会	8:15	監督会	8:30
開会式	8:30	競技開始	9:00
競技開始	9:00		

※ 1試合目のチームは開場後、アップを行ってよい。

- 2 会場 高原町立高原中学校体育館
- 3 参加資格 各学校1チームおよび、地区理事会で承認された合同チーム
- 4 出場制限 (1) チーム編成は、コーチ・アシスタントコーチ・引率責任者・マネージャー(生徒)各1名・選手15名の計19名とする。
(2) 1チームに1名のトレーナーを配置することができる。ただし、事前に専門部の承認を得たものに限る。
- 5 競技方法 男子・女子ともにリーグ戦もしくはトーナメントとする。ただし、参加チーム数が増減した場合は、競技専門部で案を検討し全顧問の先生方の承認をもらった競技方法を実施する。
- 6 競技規則 (1) 令和6年度日本バスケットボール協会(中学校)競技規則ならびに本大会要項を適用する。
(2) 試合時間は、8分-2分-8分(10分) 8分-2分-8分の4ピリオド制とする。
(3) ユニフォームは、濃淡2色を用意すること。インナーについては県の規定に準ずる。(県協会ホームページ中学部会ユニフォーム規定参照)
(4) 対戦表の左側のチームが淡色のユニフォームを着用し、ベンチはテーブルオフィシャル席に向かって右側となる。
(5) リーグ戦の順位決定の方法は、①勝ち点②直接対決③得失点差とする。(勝ち点は、勝ち2点、負け1点、没収試合0点とする。)
- 7 使用球 試合球は、JBA検定球7号(男子)、6号(女子)を使用する。各チームから持ち寄り、主審が試合球を1つ決定する。
- 8 組合せ 西諸地区中学校秋季体育開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 9 表彰 男女の優勝校に優勝旗・賞状、準優勝校には賞状を授与する。
- 10 審判 日本バスケットボール協会公認審判員、宮崎県バスケットボール協会公認審判員及び各チーム関係者で行う。

第48回 西諸地区中学校秋季体育大会

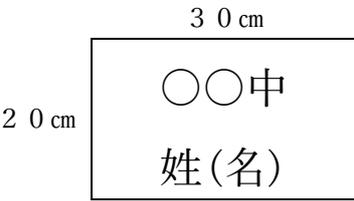
剣道競技実施要項

- 1 日 時 令和6年10月6日(日)
監督会 9時10分
審判会 9時30分
開始式 9時45分
競技開始 10時00分
- 2 会 場 東方地区体育館
- 3 参加資格 男女とも単一校チーム・個人とする。
- 4 出場制限 (1) 団体戦は、各学校男女1チームとする。
(2) 団体戦のチーム編成は男女チームとも、監督1名・コーチ1名・選手5名・補欠2名計9名以内とする。団体戦は5人制とするが、3人・4人でも参加できる。この場合のオーダーは次の通りとする。但し、不足分は不戦敗。
 - ・ 3人で編成する場合：先鋒・中堅・大将,
 - ・ 4人で編成する場合：先鋒・中堅・副将・大将(3) 個人戦は各学校全員参加することができる。
(4) 個人戦の選手は、団体戦と兼ねてもよい。
- 5 競技方法 (1) 団体戦は予選リーグ・決勝リーグ又は決勝トーナメント、個人戦についてはトーナメント又は予選リーグ・決勝トーナメントとする。
(2) 団体戦は3分間・3本勝負とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
(3) 団体戦のチームの勝敗は、勝者数、総本数で決定する。
 - ・ 予選リーグ及び決勝リーグの場合は、勝ち1点、引き分け0.5点、負け0点とし、得点、チーム勝数、総勝者数、総取得本数の順で決定する。なお、同率の場合は、3分間・1本勝負の登録メンバーの中から任意による代表戦を行う。勝敗の決するまで延長を行う。延長戦は2分刻みで行い、延長戦を2回行った後に小休止(呼吸等)、再度2回延長戦を繰り返したら、面を外しての休憩(5分)の時間をとる。以後延長の続く限り繰り返す。(4) 個人戦は3分間・3本勝負とし、それでも決しない場合は、リーグ戦では引き分けとする。トーナメントでは、延長を行う。延長戦は、団体戦の代表戦と同様に行う。
- 6 競技規則 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び剣道試合・審判細則並びに宮崎県中学校体育大会剣道競技申し合わせ事項による。
- 7 組合せ 西諸地区中学校秋季体育開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 8 表 彰 団体戦優勝校には優勝旗・賞状を、2位・3位校には賞状を授与する。
個人戦1～3位には賞状を授与する。
- 9 審 判 剣道連盟各地区分会の先生々をお願いする。
- 10 参加申込 (1) 申込方法 所定の用紙に記入し、(3)の申込先あて申込こと。
(2) 申込期日 西諸地区中学校体育連盟競技専門部会開始までとする。
(3) 申 込 先 西諸地区中学校体育連盟事務局
(4) 申込書類 参加申込書(団体戦用・個人戦用)3部提出
地区中体連事務局(1部) 地区競技専門部(1部) 各学校保管(1部)

第48回 西諸地区中学校秋季体育大会

バドミントン競技実施要項

- 1 日 時 令和6年 10月5日(土)、10月6日(日)
監督会 8時10分 開始式 8時40分 競技開始 9時00分
- 2 会 場 えびの市民体育館
- 3 参加資格 単一校チーム・個人であること。
- 4 出場制限 (1) 団体戦は、各学校男女1チーム、個人戦は男女制限なしとする。
(2) 団体戦の編成は、監督1名、コーチまたはマネージャー1名、選手5名～7名とする。
ただし、本大会に限り、団体戦の登録選手が3名及び4名の場合においても参加を認める。
(3) 個人戦は、シングルスとダブルスを兼ねて出場はできない。
- 5 競技方法 (1) 団体戦及び個人戦を行う。出場者数に応じてトーナメント戦またはリーグ戦を行う。
(2) 団体戦は2複1単とし、複-単-複の順で試合を行う。
(3) 登録選手が3名及び4名の場合、競技方法は次のとおりとする。
・登録選手が4名の場合・・・第1ダブルスと第2ダブルスとする。
・登録選手が3名の場合・・・第1ダブルスとシングルスとする。
- 6 競技規則 (1) 現行の日本バドミントン協会競技規則に準ずるとともに本大会運営規則による。
(2) 団体・個人戦ともに同一選手が単と複を兼ねて出場することはできない。
(3) 競技時の服装は日本バドミントン協会検定合格品とする。ただし、学校指定の体育服は可とする。
(4) 上衣背面上部に学校名・姓を明記したゼッケンを付ける。
※ ゼッケンは、縦20cm・横30cmの範囲内とし、文字列の大きさは、高さ6cm～10cmとする。



30 cm

20 cm

○○中

姓(名)

※ 文字列の大きさ (高さ6cm～10cm)
※ 同姓の選手がいる場合は頭文字を記す。
- (5) 個人戦のベンチ入りについては、1コートで試合するときには監督のみが入り、同一校が複数コートで試合しているときは、監督・コーチもしくはマネージャーが1名入ることができる。
- 7 使用球 大会使用球は水鳥球(日本バドミントン協会二種検定合格球)を使用する。
- 8 組合せ (1) 西諸地区中学校秋季体育開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 9 表彰 (1) 団体戦優勝校には優勝旗・賞状を、2～3位には賞状を授与する。
(2) 個人戦1位～3位には賞状を授与する。
- 10 審判 生徒相互審判とする。
- 11 参加申込 (1) 申込方法 所定の用紙に記入し、(3)の申込先まで申込むこと。
(2) 申込期日 西諸地区中学校体育連盟競技専門部会会場、本会開始時間までとする。
(3) 申込先 西諸地区中学校体育連盟事務局
(4) 申込書類 参加申込書 3部提出

第48回 西諸地区中学校秋季体育大会

ハンドボール競技実施要項

- 1 日 時 令和6年 9月28日(土)
- 2 会 場 小林市民体育館
- 3 参加資格 学校単位参加
- 4 出場制限 各学校男女1チームの学校単位参加とする。チーム編成は、部長1名、監督1名、コーチ1名、引率責任者1名、選手15名の計19名以内とする。
- 5 競技方法 西諸地区中学校秋季体育開催基準に準ずる。(シードに関しても開催基準に準ずる。)
- 6 競技規則 令和6年度日本ハンドボール協会競技規則並びに本大会要項を適用する。
試合時間 25分-10分-25分
同点の場合は、5分-1分-5分の延長戦により勝敗を決する。
さらに同点の場合は、各チーム3名による7Mスローを行う。
※ タイムアウトを採用する。(合計3回のタイムアウト制を適用する。)
- 7 使用球 日本ハンドボール協会公認球(手縫い)を使用する。各学校で用意すること。
- 8 表 彰 優勝校に、優勝旗・賞状を授与する。
- 9 競技日程

時 間	日 程
8:00 ~ 8:30	会場設営・練習
8:30 ~ 8:40	代表者会議
8:45 ~ 9:00	開会式
9:30 ~ 10:30	小林 - 三松 (女子)
10:50 ~ 11:50	小林 - 三松 (男子)
12:00 ~ 12:10	閉会式

- 10 審 判 ハンドボール協会公認審判員にお願いする。
- 11 その他
 - (1) 審判の判定には、中学生らしい素直な態度で従うこと。
 - (2) 中学生として望ましいマナーを身につけるよう努めること。
 - (3) ゴミは各学校で必ず持ち帰ること。
 - (4) 生徒の試合中の事故については、応急処置を救護担当が行いますが、以後は各学校で責任を持って対処してください。